別紙様式１　学校評議員による会議実施報告書

ホームページへの掲載	
済	３月５日　掲載

岐阜県立山県高等学校

学校長　　折戸　敏仁
学校住所　岐阜県山県市中洞４４－１　電話　0581-52-1551

１　会議の名称　岐阜県立山県高等学校評議員会　　（第２回）

２　会議の構成　委　員　　乾　　幸雄　　３期目
木田　多津子　１期目
小島　　昇　　１期目
船戸　忠幸　　１期目
古田　雅通　　３期目

（委員名は五十音順）

学校側　　松井　良樹　　ＰＴＡ会長
折戸　敏仁　　校長
野田　光浩　　教頭
山内　幸子　　事務長
籠橋　数浩　　教諭（教務主任）
浅野　和道　　教諭（生徒指導主事）
小泉　　淳　　教諭（進路指導主事）

３　会議の目的　岐阜県立山県高等学校の学校運営について、地域住民や有識者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校つくりを推進することを目標とする。

４　会議の開催　日　時：平成２６年２月１９日（水）　10:00～12:00
場　所：山県高等学校　ゼミナール室
出席者：委員４人と学校側７人が出席

５　会議の概要

10:00　学校長挨拶
10:05　授業参観
10:35　部活動紹介
11:05　平成 25 年度自己評価について報告　および学校評議員からの提言・感想

（１）授業参観

１・２年生　第２時限目の授業を参観。

（２）部活動紹介

すべての部活動の部長による活動紹介プレゼンテーションを行った。

（３）平成 25 年度自己評価について報告　および学校評議員からの提言・感想

***　学習指導　***

報告　今年度は、基礎学力の定着と、個々の生徒の学力伸長を目指して学習指導に取り組んだ。授業時間ごとに学習目標を提示し学習内容を明確化することや、基礎学力定着のための課題を確実に提出させる指導など、昨年度までの取り組みで効果が認められた指導は継続した。今年度は、教科間の互見授業交流により指導力の向上に努めるとともに、近隣の中学校の先生方に対する公開授業も開催し実践交流を行った。また、基礎学力の定着度テストを独自に作成・実施し、現在、その結果を分析中である。

***　生徒指導　***

報告　遅刻数を減らす取り組みは効果が上がった。始業５分前の予鈴時に教室で出席確認をするようにしたのがよかった。また、校内で生徒相互や、生徒・教員間の挨拶が増えたのもよかった点である。その他に、携帯電話の使用に関する資料を作成し、保護者に使い方の指導の協力依頼をした。「good job カード」を作成し、生徒を褒めることを奨励した。他方、自転車走行時のマナー指導は今後も力を入れねばならない。

***　進路指導　***

報告　３年生の進路は、例年に比べ早く決まった。キャリア教育アドバイザーによる粘り強い指導が奏功した。またキャリア教育アドバイザーのおかげでインターンシップにおける製造関連企業の開拓もできた。ＰＴＡや学校評議員による特別面接指導も生徒にとってよい効果が出ている。進路相談会も充実した。課題は１年生に対する進路意識の高揚指導や、日常のマナー指導の徹底である。他に、進学補習の参加者を増やす働きかけも必要である。

***　家庭・地域との連携***

報告　今年度は、これまで以上にさまざまな地域行事へ積極的に参加した。近隣中学校に本校の活動広報用掲示板を設置させてもらい、その中学校の卒業生に更新に行ってもらった。美山小学校への読み聞かせ交流活動を継続している。ビジネスコースの実習として「山高屋台」という販売実習も継続している。これは今後、近隣の地域にも出て行きたいと考えている。これらの活動を紹介するためにホームページの更新回数を増やした。課題は、本校の活動の認知度が、まだ低い点である。

***　学校評議員からの提言・感想　***

意見１　山県市の、社会を明るくする運動で啓発活動をしている。生徒も毎年４回参加してもらっている。続けてほしい。

意見２　子ども達の目がやわらかい。和やかで、穏やかである。文化を学ぶ姿勢になってきている。「good job カード」や学校壁新聞なども、学校の文化と言える。学力については、きちんと書くことで身についている。授業時に生徒を前に出させるのも、声をかけてもらえていてよい。子どもの心へ入っていき、心に火をつける指導をさらに増やしていくと、より伸びる。授業目標や課題に「なぜ？」を入れると、心をかきたてられ主体的になるので、取り組んでほしい。

意見３　教室がきれいに整備されていてよい。

意見４　入学時の全国テストできちんと生徒の学力を把握し、伸ばしてほしい。家庭でのしつけは、なかなかできないので、ファイル指導を大切に進めるとよい。そして、山県高校は就職する生徒が半分以上いて多いのだが、その生徒にとって学校での学びは、山県高校が最後になる。それらの子が社会できちんと信頼される人になるように育ててほしい。

　山県高校は山県市に１つの高校であり、地域からの期待もある。学校外へ出て、地域の人に評価してもらう機会を増やすと、それが生徒のもとに返っていくので、ぜひ進めてほしい。

意見５　教室の整頓は個人ロッカーが導入されてから良くなった。授業で気になったのは、まだ講義式の授業が多い点である。生徒が一体になって参加している授業は少ないが実践されているので、その授業を校内で学んで増やしていくとよい。

６　会議のまとめ

　現状に満足することなく改善を進めていく。地域に愛される、よりよい学校つくりに取り組んでいくので、今後も本校を支えていただきたい。